

2025年3月期 第3四半期連結決算の概要

[2024年度]

2025年1月31日

株式会社日立製作所
執行役専務 CFO

加藤 知巳

Contents

1. 今回のポイント
2. 2024年度 第3四半期 実績
3. 2024年度 見通し
4. セグメント別業績
5. 参考資料

1. 今回のポイント

FY24 3Q
実績

3セクターで増収・増益。再生可能エネルギー関連案件や送電網設備の更新案件が好調なGEMと、国内IT市場においてDX/モダナイゼーションの追い風を受けるDSSがけん引
CIは国内外事業において堅調な業績

3セクター
(日立
Astemo
除き)

売上収益

+16% [+14%]^(*)

2兆4,652億円

Adj. EBITA

+34% [+32%]

2,956億円

Adj. EBITA
Margin

12.0%

+1.6 pts

連結
合計

当期利益

(親会社株主帰属)

1,385億円

△974億円

コアFCF

2,056億円

+582億円

当期利益の減少は、前年度に日立Astemoの一部持分の売却益が発生したことによる影響
コアFCFの増加は、大型プロジェクトの前受金を獲得したことによる影響

FY24
見通し

3セクターで売上収益 5,500億円、Adj. EBITA 570億円、コアFCF(連結合計) 1,300億円 上方修正
DX/GX需要や新たな事業機会を捉え、3セクターで増収増益

3セクター
(日立
Astemo
除き)

売上収益

+13% [+11%]

9兆7,000億円

Adj. EBITA

+29% [+28%]

1兆1,070億円

Adj. EBITA
Margin

11.4%

+1.4 pts

連結
合計

当期利益

(親会社株主帰属)

6,100億円

+201億円

コアFCF

6,100億円

+385億円

ROIC

9.8%

+1.1 pts

今回のポイント(続き)

- ✓ GXとDXの追い風を受けたGEMとDSSは大きく成長。CIも堅調な業績。中計目標(*)は概ね達成の見込み
- ✓ 当期利益とコアFCFがFY23を上回る成長を実現。コアFCF/当期利益コンバージョン100%を達成見込み
- ✓ 株主還元は3,892億円(支払いベース)とFY23を1,447億円上回る

単位：億円

		FY23	YoY	FY24	YoY
3セクター (日立Astemo除き)	売上収益	85,643	+12%[+8%] ^(*)	97,000	+13%[+11%]
	Adj. EBITA率	10.0%	+0.5 pts	11.4%	+1.4 pts
DSS	売上収益	25,986	+9%[+6%]	28,500	+10%[+8%]
	Adj. EBITA率	12.8%	+0.5 pts	13.3%	+0.5 pts
GEM	売上収益	30,523	+24%[+16%]	37,700	+24%[+21%]
	Adj. EBITA率	6.5%	△0.1 pts	9.0%	+2.5 pts
CI	売上収益	30,579	+3%[+1%]	31,500	+3%[+2%]
	Adj. EBITA率	10.5%	±0.0pts	11.5%	+1.0 pts
連結合計					
当期利益(親会社株主帰属)		5,898	△592	6,100	+201
EPS		126円	△10円	132円	+5円
コアFCF		5,714 ^(*)	+1,550	6,100	+385
ROIC		8.7%	+1.1 pts	9.8%	+1.1 pts

(*)2024中計目標：売上収益 8.0兆円(成長率5-7%)、Adj EBITA率 12%、EPS(3年平均)120円(成長率10-14%)、コアFCF(3年累計)1.2兆円、ROIC10%

(*)括弧内の数値は為替影響を除いたYoY増減率の概算値を表しています (**)FY23のコアFCFは、事業再編の税金還付影響を含みます

日立エナジ-業績推移

単位：億ドル*

	FY21	YoY	FY22	YoY	FY23	YoY	FY24	YoY	CAGR (FY21-24)
受注	117	+32%	168	+44%	233	+39%	287	+23%	+35%
売上収益	88	+7%	103	+17%	126	+23%	155	+22%	+21%
Adj. EBITA率	6.1%	-	7.1%	+1.0 pts	8.5%	+1.4 pts	11.0%	+2.5 pts	-

(*)Constant Currencyベース。過去値も含め2024年度予算レートを使用して算出しています

2. 2024年度 第3四半期 実績

実績ハイライト (FY24 3Q)

- 3セクターは売上収益が成長(YoY +16%)、Adj. EBITAが742億円増加(YoY +34%)し、収益性向上。CIは国内外事業において堅調な業績
- コアFCFは、大型プロジェクトの前受金を獲得したこと等により、前年同期比で増加

単位：億円	連結 合計	3 セクター (日立Astemo除き)
売上収益	24,652	24,652
YoY	+9%	+16%
Adj. EBITA	3,057	2,956
YoY	+744	+742
Adj. EBITA率	12.4%	12.0%
YoY	+2.2 pts	+1.6 pts
当期利益 (親会社株主帰属)	1,385	1,284
YoY	△974	+64 ^(*)
コアFCF	2,056	
YoY	+582	

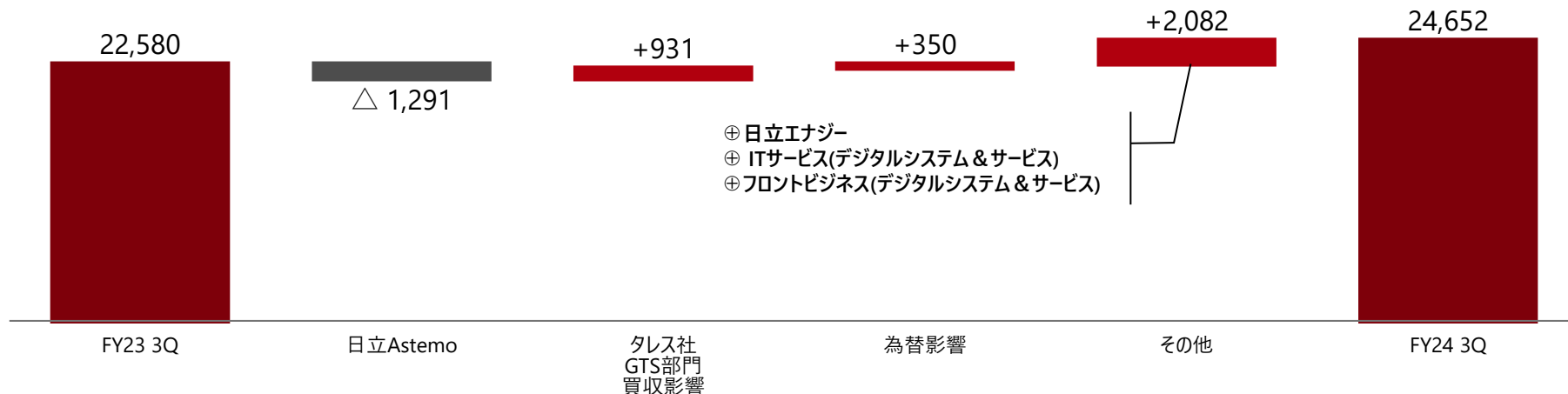
実績 為替レート	FY23 3Q (期中平均)	FY24 3Q (期中平均)
ドル	148円	152円
ユーロ	159円	163円

(*)前年度の日立Astemoの一部持分の売却益影響を除いています

売上収益・Adj. EBITA 前年度比増減内訳 (FY24 3Q)

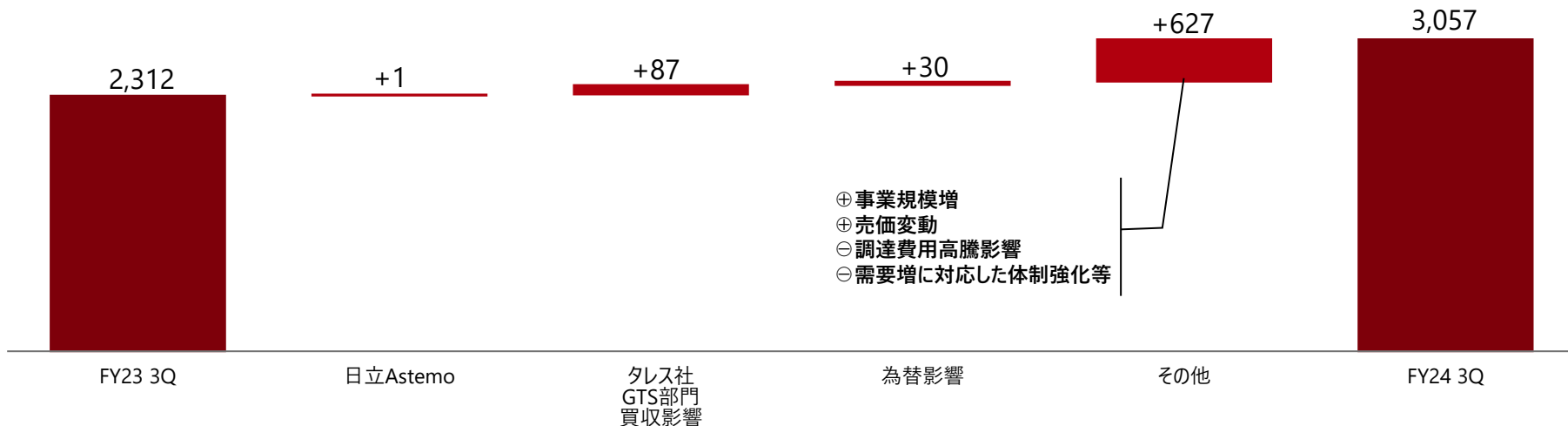
売上収益

単位：億円



Adj. EBITA

単位：億円



(*)日立Astemoの持分法損益と、持分法適用会社化前の子会社連結数値を含みます

財政状態

単位：億円	2023年度末	2024年度 第3四半期末	前年度末比
資産合計	122,212	136,666	+14,453
現金及び現金同等物	7,053	10,092	+3,039
売上債権及び契約資産	29,913	32,860	+2,947
負債合計	63,616	76,471	+12,854
有利子負債	11,800	17,919	+6,118
親会社株主持分	57,037	58,487	+1,450
非支配持分	1,558	1,707	+148
運転資金手持日数	54.2日	52.8日	△1.4日
親会社株主持分比率	46.7%	42.8%	△3.9 pts
D/Eレシオ	0.20倍	0.30倍	+0.10 pts

キャッシュ・フロー

単位：億円	2023年度 第3四半期	2024年度 第3四半期	前年同期比	2023年度 第3四半期累計	2024年度 第3四半期累計	前年同期比
営業キャッシュ・フロー	2,259	2,948	+688	5,428	6,181	+752
投資キャッシュ・フロー	△617	△1,097	△479	△1,720	△4,215	△2,495
フリー・キャッシュ・フロー	1,642	1,851	+208	3,708	1,965	△1,742
コア・フリー・キャッシュ・ フロー	1,474	2,056	+582	2,685	3,742	+1,057

地域別売上収益 (FY24 3Q)

単位：億円	日本	北米	欧州	中国	ASEAN・ インド他	その他地域	海外 合計
デジタルシステム& サービス	4,641	938	628	80	528	150	2,326
YoY	+14%	+7%	△3%	△10%	+13%	+10%	+5%
グリーンエネルギー& モビリティ	928	2,032	3,848	589	832	1,690	8,993
YoY	△4%	+20%	+45%	+10%	+45%	+20%	+31%
コネクティブ インダストリーズ	3,822	731	552	2,179	673	97	4,235
YoY	+7%	+16%	+29%	+8%	+1%	+16%	+11%
3セクター 合計	8,986	3,710	5,037	2,880	2,095	1,941	15,665
YoY	+9%	+16%	+35%	+8%	+16%	+19%	+20%
構成比	36%	15%	21%	12%	8%	8%	64%
連結 合計	8,986	3,710	5,037	2,880	2,095	1,941	15,665
YoY(*)	+5%	+6%	+31%	±0%	+2%	+12%	+12%
構成比	36%	15%	21%	12%	8%	8%	64%

(*)連結合計のYoYは、日立Astemoを含んだ前年度実績との比較です

セグメント別 受注高 (FY24 3Q、3Q累計)

単位：億円	FY24 3Q	YoY	FY24 3Q累計	YoY		FY24 3Q	YoY	FY24 3Q累計	YoY
デジタルシステム&サービス	6,890	+4%	22,111	+7%	コネクティブインダストリーズ	7,536	+4%	22,733	±0%
フロントビジネス(*)	2,661	△6%	9,727	+5%	ビルシステム	2,011	△6%	6,413	△8%
ITサービス	2,729	+12%	8,426	+12%	生活・エコシステム(日立GLS)	937	+5%	2,709	△2%
サービス&プラットフォーム	2,734	+11%	7,924	+10%	計測分析システム(日立ハイテック)	1,896	+16%	5,425	+9%
グリーンエネルギー&モビリティ	21,355	+59%	52,509	+48%	インダストリアルデジタル	839	+1%	2,785	+5%
原子力	1,441	+436%	3,141	+196%	水・環境	535	+7%	1,331	△21%
日立パワーソリューションズ	355	+46%	1,009	+41%	インダストリアルプロダクツ	1,317	+3%	4,071	+7%
日立エナジー	15,600	+64%	35,260	+35%					
鉄道	3,900	+23%	13,008	+88%	フロントビジネス				: FY23 3Qにおける大口案件の反動減
					原子力/日立エナジー				: FY24 3Qにおける大口案件の影響
					鉄道				: タレス社鉄道信号関連事業の買収影響

(*)詳細はP22「注記」を参照してください

3. 2024年度 見通し

見通しハイライト (FY24)

- 3セクターで売上収益 5,500億円、Adj. EBITA 570億円、コアFCF (連結合計) 1,300億円上方修正
- 大型プロジェクトの前受金獲得等により、コアFCF/当期利益コンバージョン100%を達成見込み
- 2024中計のKPIは概ね達成見込み

単位：億円	連結 合計		3 セクター(日立Astemo除き)	
	前回	今回	前回	今回
売上収益	91,500	97,000	91,500	97,000
YoY		±0%		+13%
Adjusted EBITA	10,350	11,000	10,500	11,070
YoY		+1,818		+2,512
Adjusted EBITA率	11.3%	11.3%	11.5%	11.4%
YoY		+1.9 pts		+1.4 pts
当期利益(親会社株主帰属)	6,000	6,100	6,150	6,170
YoY		+201		+1,435 ^(*)
EPS	130円	132円		
コア・フリー・キャッシュ・フロー	4,800	6,100		
YoY		+385		
ROIC	9.5%	9.8%		
YoY		+1.1 pts		

前提 為替レート		為替感応度 ^(*) (FY24 4Q)	
		売上収益	Adj. EBITA
ドル	145円	+30億円	+2億円
ユーロ	155円	+20億円	+2億円

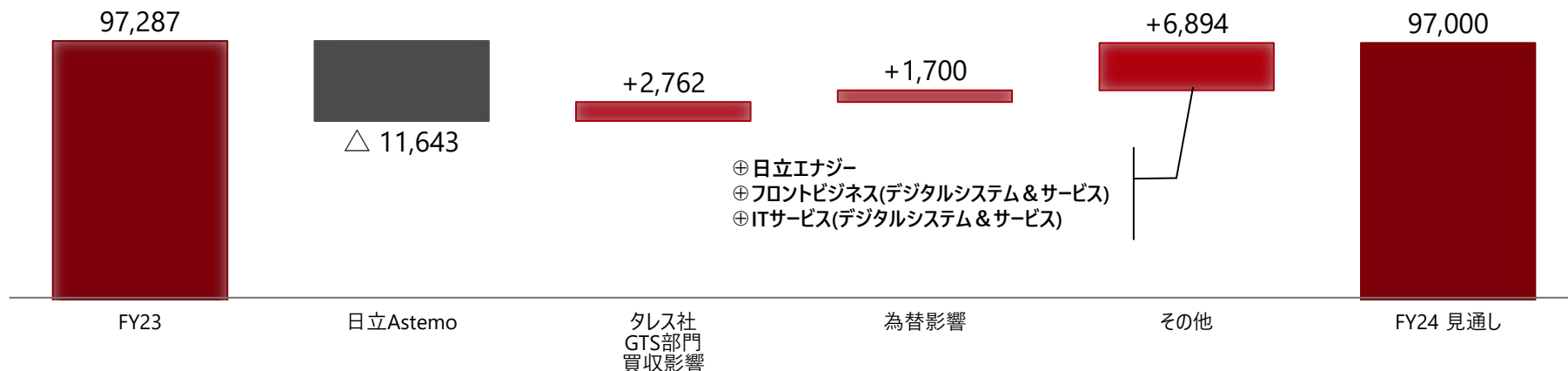
(*)前提為替レートから1円安となった場合の業績影響額です

(*)前年度の日立Astemoの一部持分の売却益影響を除いています

売上収益・Adj. EBITA 前年度比増減内訳 (FY24 連結合計)

売上収益

単位：億円



Adj. EBITA

単位：億円



(*)日立Astemoの持分法損益と、持分法適用会社化前の子会社連結数値を含みます

4.セグメント別業績

セグメント別 業績 (DSS)

単位：億円	FY24 3Q		YoY		FY24 見通し		YoY		前回見通し比	
	売上収益	Adj. EBITA	売上収益	Adj. EBITA	売上収益	Adj. EBITA	売上収益	Adj. EBITA	売上収益	Adj. EBITA
デジタルシステム&サービス	6,967	971 13.9%	+10% [+9%] ^(*)	+101 +0.1 pts	28,500	3,800 13.3%	+10% [+8%]	+465 +0.5 pts	+2% +2%	+20 △0.2 pts
フロントビジネス	2,876	380 13.2%	+9%	+52 +0.7 pts	12,300	1,500 12.2%	+11%	+262 +1.1 pts	+2% +2%	+20 ±0.0 pts
ITサービス	2,593	326 12.6%	+12%	+83 +2.1 pts	10,500	1,270 12.1%	+8%	+150 +0.6 pts	+2% +2%	+50 +0.3 pts
サービス&プラットフォーム	2,735	242 8.9%	+11%	△29 △2.1 pts	10,800	1,100 10.2%	+10%	+229 +1.3 pts	+5% +5%	△100 △1.5 pts
GlobalLogic (スタンド・アローン)	768	149 19.4%	+18% [+15%]	+22 △0.1 pts	3,025	577 19.1%	+19% [+14%]	+79 △0.5 pts	+4% +4%	+1 △0.7 pts

FY24 3Q 概況

- セグメント全体は、増収増益
- フロントビジネスは、前年のATM事業における改刷対応の反動があるも、国内事業を中心に、大口案件を含むDX/モダナイゼーション等が堅調に推移し、増収増益
- ITサービスは、クラウドやセキュリティ関連等のLumada事業が好調に推移し、増収増益
- サービス & プラットフォームは、GlobalLogicの成長や国内DX/クラウドサービスが好調も、ストレージ事業における価格競争および部材コスト上昇等の影響により、増収減益
- GlobalLogicは、欧州を中心に顧客投資抑制が継続するも、前年同期比+18%(米ドルベース+15%)で増収

FY24 見通し 概況

- セグメント全体は、売上収益500億円、Adj.EBITA20億円を上方修正
- セグメント全体は、堅調な国内外のデジタル需要を背景に増収増益の見通し。(FY24 3Q末 受注残: 1.6兆円 FY23末比 +12%)
生成AIをはじめ次の成長に向けた投資も推進
- フロントビジネスは、大口システム更新案件への対応やLumada事業の拡大により、増収増益の見通し
- ITサービスは、Lumada事業の拡大により、増収増益の見通し
- サービス & プラットフォームは、GlobalLogicの成長やDX/クラウドサービスの増加により、増収増益の見通し。ストレージ事業における厳しい競争環境は継続し、前回からAdj. EBITA100億円を下方修正
- GlobalLogicは、欧州を中心に顧客投資抑制があるも、他セクターとのシナジーおよび生成AIの需要を取り込み、前年比+19%(米ドルベース +14%)の成長を継続の見通し

(*)括弧内の数値は為替影響を除いたYoY増減率の概算値を表しています
ただし、GlobalLogicについては、米ドルベースのYoY増減率の概算値を表しています

セグメント別 業績 (GEM)

単位：億円	FY24 3Q		YoY		FY24 見通し		YoY		前回見通し比	
	売上収益	Adj. EBITA	売上収益	Adj. EBITA	売上収益	Adj. EBITA	売上収益	Adj. EBITA	売上収益	Adj. EBITA
グリーンエネルギー&モビリティ	9,921	935	+27%	+462	37,700	3,400	+24%	+1,408	+4%	+250
		9.4%	[+24%] ^(*)	+3.4 pts		9.0%	[+21%]	+2.5 pts		+0.3 pts
原子力・日立パワーソリューションズ合計	724	95	△11% ^(*)	+34	3,007	241	△13% ^(*)	△22	+3%	△38
		13.1%		+5.5 pts		8.0%		+0.4 pts		△1.5 pts
原子力	432	-	+19%	-	1,886	-	+10%	-	+10%	-
日立パワーソリューションズ	280	-	+6%	-	1,220	-	+3%	-	△6%	-
日立エナジー(スタンド・アローン) ^(*)	6,099	671	+26%	+251	23,296	2,553	+26%	+979	+6%	+251
		11.0%	[+22%] ^(*)	+2.3 pts		11.0%	[+22%]	+2.5 pts		+0.5 pts
関連費用 ^(*)	-	△54	-	+77	-	△291	-	+117	-	+2
鉄道(関連費用除き) ^(*)	3,147	262	+45%	+136	11,469	1,070	+34%	+414	±0%	±0
		8.3%		+2.5 pts		9.3%		+1.6 pts		±0.0 pts
関連費用 ^(*)	-	△21	-	△20	-	△97	-	△82	-	±0

FY24 3Q 概況

- セグメント全体は、日立エナジー、鉄道システムの堅調な推移およびタレス社GTS部門の買収、事業買収に伴う関連費用の減少、為替影響により、増収増益
- 原子力・日立パワーソリューションズ合計は、日立パワーデバイスの譲渡により減収となるも、原子力事業の一部大口案件の影響により増益
- 日立エナジーの売上は、受注残からの着実な売上転換により増収。また、売上規模増、着実なプロジェクトの実行、継続的な生産効率向上および受注残のクオリティ(リスク・収益性)改善の影響により増益
- 鉄道システムは、タレス社GTS部門買収影響(売上収益 931億円、Adj. EBITA 87億円(関連費用除き))に加え、北米における鉄道信号事業の進展や為替影響により増収増益

FY24 見通し 概況

- セグメント全体は、売上収益1,400億円、Adj. EBITA250億円上方修正
- セグメント全体は、堅調な受注およびLumada事業の拡大(サービス事業他)に加え、タレス社GTS部門の買収、為替影響により増収増益の見通し
- 日立エナジーは、受注残増加(FY24 3Q末 受注残: 6.6兆円 FY23末比 +41%)による売上拡大と生産性向上施策の効果等により増収増益の見通し。パワーグリッドの関連費用は24年度中に収束見込み
- 鉄道システムは、タレス社GTS部門買収影響(売上収益 2,762億円、Adj. EBITA 263億円(関連費用除き))により売上収益1兆円超へと拡大、信号事業の構成比増加や前年に発生した一部の低採算案件収束等による収益性向上により増収増益の見通し

(*)括弧内の数値は為替影響を除いたYoY増減率の概算値を表しています。ただし、日立エナジーについては、米ドルベースのYoY増減率の概算値を表しています

(*)日立エナジー(スタンド・アローン)、鉄道(関連費用除き)には、関連費用は含まれていません

(*)関連費用には、事業買収に伴うPMIに係る費用等が含まれています

(*)原子力・日立パワーソリューションズ合計のYoYは、2024年度の日立パワーデバイスの株式譲渡影響を含みます

セグメント別 業績 (CI)

単位：億円	FY24 3Q		YoY		FY24 見通し		YoY		前回見通し比	
	売上収益	Adj. EBITA	売上収益	Adj. EBITA	売上収益	Adj. EBITA	売上収益	Adj. EBITA	売上収益	Adj. EBITA
コネクティブインダストリーズ	8,057	1,007 12.5%	+9% [+7%] ^(*)	+220 +1.9 pts	31,500	3,610 11.5%	+3% [+2%]	+403 +1.0 pts	±0%	±0 ±0.0 pts
ビルシステム	2,551	362 14.2%	+6%	+89 +2.8 pts	9,300	1,070 11.5%	+1%	+100 +1.0 pts	+3%	+57 +0.2 pts
生活・エコシステム (日立GLS)	937	108 11.5%	+5%	+38 +3.7 pts	3,600	350 9.7%	△4%	+3 +0.4 pts	±0%	±0 ±0.0 pts
計測分析システム (日立ハイテック)	1,903	233 12.3%	+15%	+53 +1.4 pts	7,600	920 12.1%	+5%	+165 +1.7 pts	±0%	±0 ±0.0 pts
インダストリアルデジタル	1,000	123 12.3%	+16%	+32 +1.7 pts	3,900	466 12.0%	+5%	+43 +0.6 pts	±0%	±0 ±0.0 pts
水・環境	482	46 9.6%	+3%	+1 ±0.0 pts	2,000	227 11.3%	△6%	+9 +1.0 pts	±0%	±0 ±0.0 pts
インダストリアルプロダクツ	1,250	148 11.9%	+7%	+14 +0.4 pts	5,110	603 11.8%	+5%	+54 +0.5 pts	±0%	+8 +0.2 pts

FY24 3Q 概況

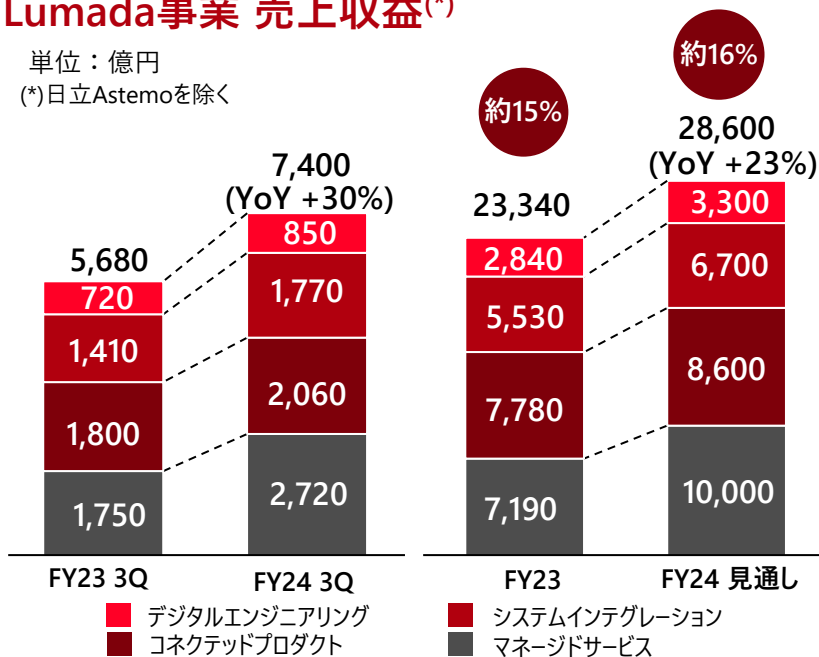
- セグメント全体は、計測分析システム、ビルシステム、インダストリアルデジタルの堅調な推移により、増収増益
- ビルシステムは、中国における新設昇降機の需要減があるも、為替影響やビルサービス事業の拡大、原価低減により、増収増益
- インダストリアルデジタルは、産業分野におけるデジタルソリューション事業の拡大により、増収増益
- 計測分析システムは、生化学免疫自動分析装置の売上増により、増収増益

FY24 見通し 概況

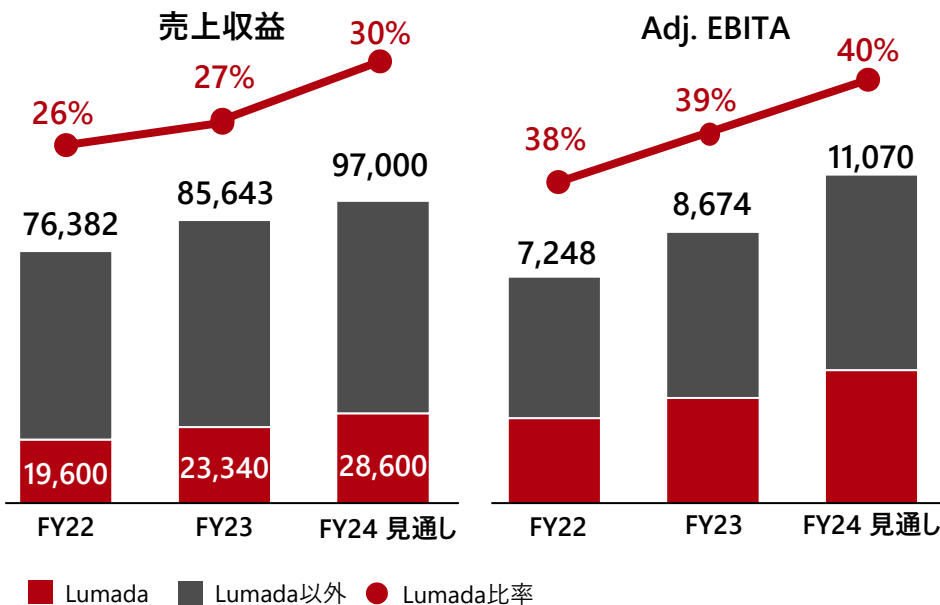
- セグメント全体は、前回見通しから変更なし
- セグメント全体は、生活・エコシステム、水・環境で減収を見込むも、計測分析システム、Lumada事業(サービス事業)の拡大により、増収増益の見通し
- ビルシステムは、中国不動産市場の調整局面が継続するも、為替影響やビルサービス事業の拡大、収益性向上施策(原価低減、固定費削減、売価改善)の推進により、増収増益の見通し
- 計測分析システムは、生化学免疫自動分析装置、放射線治療システムの売上増により、増収増益の見通し

Lumada事業 売上収益(*)

単位：億円
(*)日立Astemoを除く



Lumada事業比率



Lumada事業 セクター別売上収益

単位：億円	FY24 3Q	YoY	FY24 見通し	YoY	成長施策・トピックス
DSS	3,150	+22%	12,400	+18%	<ul style="list-style-type: none"> GlobalLogic と Hitachi Systems Trusted Cyber Management が最先端のセキュリティ監視センター(SOC)をポーランドに開設 生成AIユースケース1,000件以上のノウハウ、OTナレッジ活用の業務特化型LLMを提供開始。金融、製造、交通など専門性の高い業務分野への適用加速
GEM	1,640	+61%	5,800	+41%	<ul style="list-style-type: none"> 日立エナジーがAIを活用したエネルギー関連情報予測ソリューション「ノストラダムスAI」の提供開始 鉄道システム事業において、「HMAX」の引き合いが欧州・アジアなどで堅調に増加。ソリューションのさらなる強化に向け、1月17日に英オムニコム社の買収契約を締結
CI	2,610	+26%	11,000	+25%	<ul style="list-style-type: none"> DIC株式会社と合成樹脂製造プラント運転自動化を図るデジタルツイン技術を実用化。DICで1月から本格稼働

5. 参考資料

セグメント別 業績 (連結合計)

	FY24 3Q		YoY		FY24 3Q累計		YoY		FY24 見通し		YoY		前回見通し比	
	売上 収益	Adj. EBITA	売上 収益	Adj. EBITA	売上 収益	Adj. EBITA	売上 収益	Adj. EBITA	売上 収益	Adj. EBITA	売上 収益	Adj. EBITA	売上 収益	Adj. EBITA
単位：億円														
デジタルシステム& サービス	6,967	971	+10%	+101	20,092	2,663	+10%	+443	28,500	3,800	+10%	+465	+2%	+20
		13.9%	[+9%] ^(*)	+0.1 pts		13.3%	[+8%]	+1.1 pts		13.3%	[+8%]	+0.5 pts		△0.2 pts
グリーンエナジー& モビリティ	9,921	935	+27%	+462	27,778	2,465	+31%	+1,195	37,700	3,400	+24%	+1,408	+4%	+250
		9.4%	[+24%]	+3.4 pts		8.9%	[+25%]	+2.9 pts		9.0%	[+21%]	+2.5 pts		+0.3 pts
コネクティブ インダストリーズ	8,057	1,007	+9%	+220	23,007	2,678	+4%	+434	31,500	3,610	+3%	+403	±0%	±0
		12.5%	[+7%]	+1.9 pts		11.6%	[+2%]	+1.4 pts		11.5%	[+2%]	+1.0 pts		±0.0 pts
日立Astemo	-	-	△1,291	△94	-	-	△11,643	△506	-	-	△11,643	△506	-	-
その他	1,184	12	△6%	△44	3,561	72	△3%	△63	4,900	50	△4%	△17	+3%	+20
		1.0%	[△7%]	△3.5 pts		2.0%	[△4%]	△1.7 pts		1.0%	[△4%]	△0.3 pts		+0.4 pts
全社及び消去	△1,479	129	-	+97	△4,328	△152	-	△97	△5,600	140	-	+65	-	+360
連結 合計	24,652	3,057	+9%	+744	70,112	7,727	△3%	+1,405	97,000	11,000	±0%	+1,818	+6%	+650
		12.4%	[+8%]	+2.2 pts		11.0%	[△6%]	+2.2 pts		11.3%	[△2%]	+1.9 pts		±0.0 pts
3セクター (日立Astemo 除き)	24,652	2,956	+16%	+742	70,112	7,880	+16%	+2,070	97,000	11,070	+13%	+2,512	+6%	+570
		12.0%	[+14%]	+1.6 pts		11.2%	[+12%]	+1.6 pts		11.4%	[+11%]	+1.4 pts		△0.1 pts

(*)括弧内の数値は為替影響を除いたYoY増減率の概算値を表しています。
各セクターのEBIT、EBITDA等の詳細は [当該四半期の決算「補足資料」](#)を参照してください

連結損益計算書

単位：億円	FY23 3Q	FY24 3Q	YoY	FY23 3Q累計	FY24 3Q累計	YoY	FY23	FY24	YoY	前回見通し比
売上収益	22,580	24,652	+9%	72,181	70,112	△3%	97,287	97,000	±0%	+6%
調整後営業利益	2,002	2,501	+499	5,257	6,549	+1,292	7,558	9,300	+1,741	+550
持分法損益	+93	+238	+144	+426	+285	△140	+752	+500	△252	+70
買収に伴う無形資産等の償却費(足し戻し)	+216	+316	+99	+638	+892	+253	+870	+1,200	+329	+30
Adjusted EBITA	2,312	3,057	+744	6,322	7,727	+1,405	9,181	11,000	+1,818	+650
買収に伴う無形資産等の償却費	△216	△316	△99	△638	△892	△253	△870	△1,200	△329	△30
事業再編等損益	+854	+10	△844	+966	+332	△633	+970			
事業構造改革関連費用(*)	△48	△36	+11	△131	△114	+17	△491	△600(*)	△868	△270
その他	+368	△521	△889	+152	△377	△529	△210			
EBIT	3,271	2,193	△1,078	6,670	6,676	+6	8,579	9,200	+620	+350
利息収支	△70	△40	+30	△249	△130	+119	△321	△250	+71	+50
税金費用[充当率]	△758	△647	+111	△1,656	△1,887	△231	△1,990 [24.1%]	△2,450 [27.4%]	△459	△210
非支配持分控除	△81	△120	△38	△314	△351	△37	△368	△400	△31	△90
当期利益(親会社株主帰属)	2,359	1,385	△974	4,450	4,307	△143	5,898	6,100	+201	+100

(*)事業構造改革関連費用には、減損損失および特別退職金が含まれています (*)FY24見通しは、「事業再編等損益」「事業構造改革関連費用」「その他」の合計です。
EBITDA・減価償却費・無形資産償却費・買収に伴う無形資産等の償却費等の詳細は [当該四半期の決算「補足資料」](#) を参照してください © Hitachi, Ltd. 2025. All rights reserved.

項目	内容
3セクター(日立Astemo除き)	連結合計から日立Astemoの持分法損益と、持分法適用会社化前の子会社連結数値を差し引いたもので、「その他」と「全社及び消去」の数値を含む
DSS / GEM / CI	デジタルシステム&サービス / グリーンエナジー & モビリティ / コネクティブインダストリーズ
Adj. EBITA	調整後営業利益から買収に伴う無形資産等の償却費を足し戻し、持分法損益を加算して算出した指標。 Adjusted earnings before interest, taxes and amortizationの略
買収に伴う無形資産等の償却費	買収直後に被買収会社の資産・負債を時価評価し、のれんから無形資産等に振り替え、当該無形資産等を一定の耐用年数で償却した費用。支払済みの取得対価の内数であり、ノンキャッシュ費用
調整後営業利益	売上収益から売上原価ならびに販売費及び一般管理費の額を減算して算出した指標
EBIT (受取利息及び支払利息調整後税引前利益)	税引前利益から受取利息の額を減算し、支払利息の額を加算して算出した指標。Earnings before interest and taxesの略
EBITDA (受取利息、支払利息及び減価償却費調整後税引前利益)	税引前利益から受取利息の額を減算し、支払利息及び減価償却費(有形および無形)を加算して算出した指標。 Earnings before interest, taxes, depreciation and amortizationの略
ROIC(投下資本利益率)	「(税引後の調整後営業利益 + 持分法損益) ÷ 投下資本 × 100」により算出した指標。Return on invested capitalの略。 なお、税引後の調整後営業利益 = 調整後営業利益 × (1 - 税金負担率)、投下資本 = 有利子負債 + 資本の部合計を示す
コア・フリー・キャッシュ・フロー	フリー・キャッシュ・フローから、M&Aや資産売却他にかかるキャッシュ・フローを除いた経常的なキャッシュ・フロー
EPS (Earnings per share)	基本1株当たり親会社株主に帰属する当期利益 2024年7月1日付で、普通株式1株につき5株の割合で株式分割を実施 2024年度見通しのEPS算定上の基礎となる株式数4,599,964,410

項目	前年度比較について
グリーンエナジー & モビリティ	鉄道システムが2024年5月にタレス社鉄道信号関連事業の買収を完了 原子力・日立パワーソリューションズ合計に含まれる日立パワーデバイスを2024年5月に非連結化
コネクティブインダストリーズ	2023年度までヘルスケア事業本部に計上されていた数値は、日立ハイテクへの承継により、2024年度より計測分析システム(日立ハイテク)に計上。計測分析システム(日立ハイテク)の対前年度比較は、この変更を2023年度に遡及した数値と比較

項目	内容
フロントビジネスの受注	フロントビジネスの金融BU受注高につき、管理会計上の内部相殺処理を変更。なお、DSS全体の受注高に影響なし

< 将来の見通しに関するリスク情報 >

本資料における当社の今後の計画、見通し、戦略等の将来予想に関する記述は、当社が現時点で合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等の結果は見通しと大きく異なることがあります。その要因のうち、主なものは以下の通りです。

- ・主要市場における経済状況及び需要の急激な変動
- ・為替相場変動
- ・資金調達環境
- ・株式相場変動
- ・原材料・部品の不足及び価格の変動
- ・信用供与を行った取引先の財政状態
- ・主要市場・事業拠点（特に日本、アジア、米国及び欧州）における政治・社会状況及び貿易規制等各種規制
- ・気候変動対策に関する規制強化等への対応
- ・情報システムへの依存及び機密情報の管理
- ・人財の確保
- ・新技術を用いた製品の開発、タイムリーな市場投入、低コスト生産を実現する当社及び子会社の能力
- ・地震・津波等の自然災害、気候変動、感染症の流行及びテロ・紛争等による政治的・社会的混乱
- ・長期請負契約等における見積り、コストの変動及び契約の解除
- ・価格競争の激化
- ・製品等の需給の変動
- ・製品等の需給、為替相場及び原材料価格の変動並びに原材料・部品の不足に対応する当社及び子会社の能力
- ・コスト構造改革施策の実施
- ・社会イノベーション事業強化に係る戦略
- ・企業買収、事業の合併及び戦略的提携の実施並びにこれらに関連する費用の発生
- ・事業再構築のための施策の実施
- ・持分法適用会社への投資に係る損失
- ・当社、子会社又は持分法適用会社に対する訴訟その他の法的手続
- ・製品やサービスに関する欠陥・瑕疵等
- ・自社の知的財産の保護及び他社の知的財産の利用の確保
- ・退職給付に係る負債の算定における見積り



Hitachi Social Innovation is
POWERING GOOD